

未来（ゆめ）を育む高島小中一貫教育全体構想

研究開発課題

自己実現を図り、よりよく生きようとする力を育成するため「未来学科」を設置し、地域や児童生徒の実態を踏まえ、体験的な学習を核にした義務教育9年間の教育課程についての研究開発を行う

めざす子ども像

- 未来に夢と希望をもち、自己実現に向けた努力ができる子
- 自ら学び、学力を高めようと励む子ども
 - 豊かな人間性や社会性を身につけた子ども
 - よりよく生きるための耐力（身体、心）をもつ子ども

研究主題

「自己実現を図り、よりよく生きようとする力の育成」
～小中の連続性を高め、体験的な学習を核にした教育課程の開発～

未来につながる

- ・自分と地域の未来に夢と希望を
- ・故郷に誇りと愛情を

学校がつながる

- ・小中教員の人事交流を
- ・小中教員の交流授業を

人がつながる

- ・子どもと子どもを、子どもと大人を
- ・不登校やいじめの減少を

学習がつながる

- ・小中一貫教育カリキュラムを
- ・小中合同行事を

地域がつながる

- ・ふるさとを大切にする子どもを
- ・地域と一体となった学校を

プレステージ（保育園）

意欲、基本的な生活習慣、社会規範など、人の生涯にわたる人間形成の基盤の育成

- ・学年のつながりを工夫（ステージ制）

ステージ1（小1年～小4年）

学習・生活における基礎・基本の定着

- ・教育課程の工夫

ステージ2（小5年～中1年）

個々の能力を生かした発展的な学習

- ・ステージ2での一部教科担任制

ステージ3（中2年～中3年）

自分の将来、地域の未来を考える生き方学習

- ・保・小・中のネットワーク

未来（ゆめ）学科

未来2 故郷に誇りを持つ、人々の生き方に学ぶ

【児童生徒交流活動領域】

F(フレンドリー)タイム

- 児童会・生徒会活動の見直しと改善
- 学級会・班活動の活性化
- ソーシャルスキル学習
- リーダーの養成とメンバーシップの育成
- 縦割り活動（ステージ1・2）
- 小中交流活動（部活動・体育祭・文化祭）

未来3 子どもが元気、学校が活性化する

【地域・生き方学習領域】

V(ビレッジ)タイム

- 「ふるさと学習」系統カリキュラム
- 地域とのふれあい
- 伝統行事の学習と参加体験
- 職場体験（地域の産業・経済に学ぶ）
- 地域でのボランティア活動
- 地域学習発表会

未来1 人間としての基礎・基本の定着 【基礎学習領域】

C(チャレンジ)タイム

- 基礎学力（読み、書き、計算）の定着を図る継続的学習

ITタイム

- IT機器での情報交換（基礎・ルール・モラル等）

E(英語)タイム

- 異文化コミュニケーションの基礎（小学校から中学校への英語活動）